CASP-1-1

305714

□要

□明

CASP-1-1□胞株は、遺伝子操作を施したマウス前立腺上皮□胞モデルであり、マウスの原発性アンドロゲン依存性前立腺腫瘍から樹立された CASPシリーズの一部である。 これらの□胞は、尿生殖洞間葉（UGM）を用いた組織再構成法によって樹立されたものであり、生体内で前立腺管の形成が可能であることから、その上皮性であることが確認されている。 CASP-1-1 □胞は、E-カドヘリンなどの上皮マーカーを発現しており、in vitro での接着非依存性増殖およびマウス前立腺への同所性注入による腫瘍形成を通じて、腫瘍形成能を示しています。これらの□胞は不死化されており、長期培養においても安定しており、少なくとも 30 回の継代が維持されています。
遺伝学的特徴として、CASP-1-1□胞はPtenのヘテロ接合体（+/−）であり、活性化Akt（p-Akt）が中程度のレベルで発現しており、前立腺がんモデルに共通して見られるPI3K/Aktシグナル伝達経路の機能的変化を反映している。 アンドロゲン受容体（AR）は、これらの□胞において転写および翻訳の両方で発現しており、シーケンシングの結果、ARのコード領域に変異は認められなかった。 しかし、野生型の AR を発現しているにもかかわらず、CASP-1-1 はアンドロゲン非依存性であり、その増殖は外因性アンドロゲンに依存しておらず、標準的なアッセイ条件下ではアンドロゲン応答性プロモーター活性を示しません。 このため、CASP-1-1 は、アンドロゲン依存性前立腺がんからアンドロゲン非依存性前立腺がんへの移行、およびこの進行における Pten/PI3K/Akt および AR シグナル伝達の役割を研究する上で、特に有用です。

ティッシュ	前立腺
病気	癌腫

用途

がん研究

分類

生物	マウス
セックス	未指定
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮
細胞の種類	上皮□胞
腫瘍形成性	はい

識別子

引用

CASP-1-1（Cytion カタログ番号 305714）

NCBI 納税者番号	10090

発現と感受性

タンパク質の発現

AR ′ Pten

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

取り扱いと飼育

培地

DMEM:Ham's F12 (1:1)´w: 3.1 g/Lグルコース、w: 2.5 mM L-グルタミン、w: 15 mM HEPES´w: 0.5 mMピルビン酸ナトリウム、w: 1.2 g/L NaHCO3 (Cytion製品番号820400a)

培養雰囲気	37℃´5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ
播種密度	1-3×10^4/cm²

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 200 x g for 5 minutes, carefully discard the supernatant containing freezing medium.
Follow the procedure described under Post-Thaw Recovery

品質管理と凍結保存

凍結培地	凍結保存培地としては、解凍後の生存率を十分に高めるため、完全増殖培地＋ 10%DMSOを使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	胚

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB